

JCCB 産業部会主催 第1回 MICE セミナー実施報告 (2017年7月4日)

7月4日(火) JCCB 産業部会 MICE セミナーは、講師に Slush Tokyo CEO アンティ・ソンニネン氏を迎え、約 60 名の参加者を得て JNTO 会議室で開催した。



(近浪部会長の開会挨拶)

冒頭、近浪産業部会長は、「インバウンドの拡大を目標に設定した JCCB に相応しいスピーカーをお迎えした」とソンニネン氏を紹介した。

ソンニネン氏は 2008 年に日本に交換留学生として来日した。ゲーム会社で成功をおさめるも、自ら事業開発をしたり、新規事業を立ち上げることが自分に向いていると思い、結果としてスタート・アップ・プロモーション・イベント、Slush Tokyo が生まれたという。

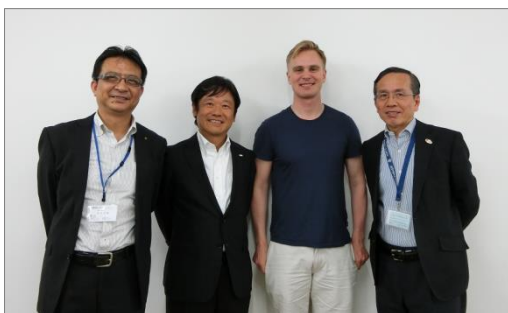


もともと Slush はフィンランドで起業したばかりの人と投資家とをマッチングさせるイベントで、300 名程度の国内イベントであったが、わずか 6 年で世界から著名な経営者や首相も訪れる 14,000 名規模のイベントに成長した。その秘訣は、「イベントを徹底的に面白くする」「主催者がステージに招く人は次の時代のロールモデルになる人」「意図的に多くの人を巻き込んで皆でイベントを創り上げていく」「イベントをだれのモノにもしない」などがある。

日本では 2015 年から開催し、3 回目が終了したところでいずれも大盛況に終わっている。ソンニネン氏は、「日本でもっと起業家が増えたらいい、起業家への革命を起こしたい」という強い信念を語った。



(活発な質疑応答がありました)



(左から：荒川副部会長、近浪部会長、アンティ・ソンニネン氏、小堀事務局長)



(Slush のポーズで記念写真)